

「自動販売機の遠隔検針サービス」の開始

2020年6月30日

北陸コカ・コーラボトリング株式会社

アイルジャパン株式会社

北陸電力株式会社

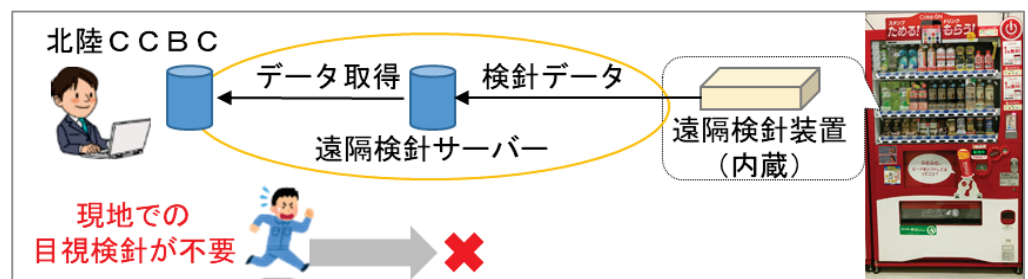
北陸電力株式会社（以下、北陸電力）とアイルジャパン株式会社（以下、アイルジャパン）は、自動販売機の電力使用量を遠隔で検針できる全国初のサービスを北陸コカ・コーラボトリング株式会社（以下、北陸CCBC）へ提供開始いたします。

■ サービス概要

- ・北陸CCBCで実施している目視検針を遠隔化
- ・北陸電力とアイルジャパンで共同開発した遠隔検針装置を自動販売機に内蔵し、遠隔検針サーバーに検針データを転送
- ・北陸CCBCは、自動販売機の電力使用量を遠隔検針サーバーから取得

■ サービス提供開始

2020年10月（予定）



■ 導入メリット

- ・現地に出向く移動時間および目視検針や検針値入力に係る労務量の削減
- ・誤検針や誤記入等のヒューマンエラー防止
- ・初期投資不要で安価に遠隔検針システムを導入
- ・自動販売機内部に検針装置を設置することで見栄えを改善

■ 各社のねらい

北陸CCBC：自動販売機の設置先へ出向いての検針作業を改善することで効率化を図るとともに、お客さまと従業員の接触回数を減らすことで感染症拡大予防に寄与

アイルジャパン：通信事業を通じた付加価値の提供により、企業における業務効率化等の経営課題解決に寄与するとともに、今後のIoT市場拡大に貢献

北 陸 電 力：今回の業務効率化のようにお客さまが抱える課題を解決することで、今後も地域を支える電気事業者として「お役立ちの精神」をもって地域発展に寄与

（別紙）「自動販売機の遠隔検針サービス」の概要

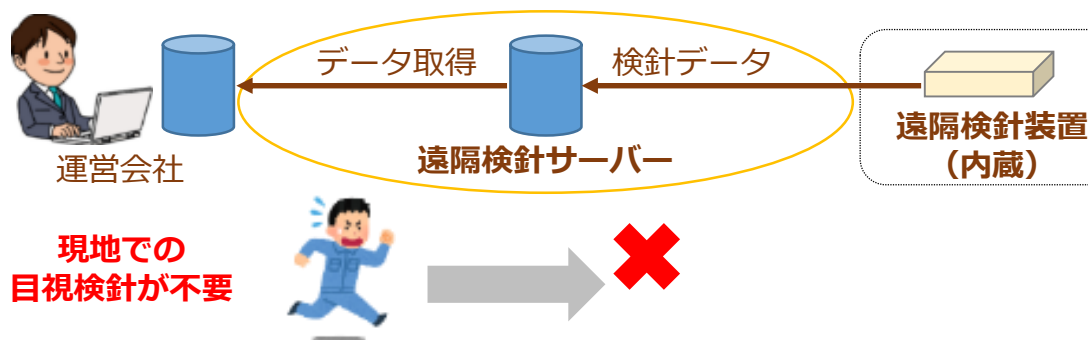
「自動販売機の遠隔検針サービス」の概要

サービス化の背景

- ・ 少子高齢化や人口減少を背景に、さまざまな業種において人手不足が課題とされるなか、飲料業界においても自動販売機の運営に係る労務量の削減が課題となっている
- ・ 一部の自動販売機では、運営会社（飲料メーカー、自動販売機オペレーター等）と設置先（地主等）との間で電気料金を精算するため、運営会社は現地に出向き、自動販売機に設置された電力量計で電力使用量を目視検針している

提供内容

- ・ 遠隔検針装置を自動販売機に内蔵し電力使用量を遠隔で確認できる仕組みを提供
- ・ 遠隔検針装置で計量した検針データを遠隔検針サーバーへ転送
- ・ 運営会社は、遠隔検針サーバーから検針データを取得



※遠隔検針装置は、機種によって外付けとなる場合があります。

導入メリット

- ① 自動販売機の電力使用量を遠隔で把握できる → 検針労務量削減
- ② 目視による検針作業や検針結果の入力作業をシステム化 → 誤検針防止
- ③ 電力量計が北陸電力所有のため運営会社による電力量計の管理※が不要 → 管理労務量削減
※電力量計の検定期間の把握および期間満了にともなう取替など
- ④ 月額定額制サービスのため運営会社はシステム導入等の初期投資が不要 → 導入しやすい
- ⑤ 目視検針のために自動販売機の上部等に設置していた電力量計を内蔵 → 見栄え改善

サービス詳細に関するお問い合わせ先

info_remote-metering@rikuden.co.jp

こたえていく。かなえていく。

 北陸電力